



写真：高松英昭写真集「STREET PEOPLE」(太郎次郎社エディタス)より



NPO法人ビッグイシュー基金 第4期(2010年9月～2011年8月) 年次報告書



2011年12月15日発行

特定非営利活動法人ビッグイシュー基金

(大阪事務所) 〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目3-2堂北ビル4F

TEL: 06-6345-1517 FAX: 06-6457-1358

(東京事務所) 〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5

シンカイビル201号室

TEL: 03-6380-5088 FAX: 03-6802-6074

E-mail: info@bigissue.or.jp

URL: <http://www.bigissue.or.jp>

理事長あいさつ

はじめに——ともに生きよう！東日本

あなたさまはじめ、みなさまとともに活動が続けることができ、ビッグイシュー基金の4期目（10年9月～11年8月）を終えました。

2007年9月の基金の立ち上げ以来満4年、リーマンショック（08年9月）など歴史的な大事件が続いてきましたが、東日本大震災、福島原発事故が発生した第4期こそ忘れてくても忘れられない時となりました。

基金では、第1期（07年9月～08年8月）は「ビッグイシューコミュニティへ」、第2期（08年9月～09年8月）は「原点・路上からの市民運動の展開」、第3期（09年9月～10年8月）は「市民が当事者になる社会へ」、と3期にわたり活動を積み重ねてきました。第4期の後半に起きた震災と原発事故は、これらの積み重ねを無にしかねないほど広範で深刻な事態を引き起こしました。現地では、死者など約2万人、約12万戸（全壊数）の家を失いました。

この状態に立ち向かうべく、特に、広い意味で被災地でもある東京を中心に全力をあげて次のような活動を行いました。被災者を支援する現地市民活動団体への寄付、定期的なボランティアの派遣、現地中間支援団体への事務スタッフの長期派遣、ともに生きよう！東日本キャンペーン、被災者を被災難民にしない予防的予備的調査などです。（これらの活動は、来期においても継続していきたいと考えています）。

結果として、生活自立、就業、スポーツ文化活動など、従来の基本プログラムは大幅に縮小せざるを得ませんでした。

この間、被災地支援などの活動に英国やスロバキアなど10数カ国をはじめ、国内外から多くのみなさまの応援やご参加をいただきました。また、今年度の活動には879人の賛助会員、208人の寄付者、ボランティアとして大阪・東京の登録者620人と各地のサポーターを合わせた約700人の方々にご参加いただき、多くの企業や団体などからのご協力やご寄付をいただきました。

被災地への応援の活動は、まだ始まったばかりです。「ともに生きよう。3.11」のロゴ、缶バッジ、しおりなどの配布を通して被災地を忘れない活動をはじめ、これからも、国内外に広く協力を求め、あなたさまとともに多様な活動を続けたいと願っています。

これまでの、あなたさまはじめ、みなさまのご協力やご参加に感謝し、心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

2011年12月15日

NPO法人 ビッグイシュー基金
理事長 佐野 章二



目次

理事長あいさつ	2
目次・活動概要	3
震災への取り組み・生活自立応援事業	4
就業応援事業	6
文化・スポーツ活動応援事業	7
ボランティア・市民の社会参加活動	8
2010年度決算報告	9
ビッグイシュー基金とは	10
市民応援会員のご案内	11



第4期の活動概要

「希望映画祭」「茂木健一郎meetsホームレスの人々」「東京タワー下野外ダンス」などのビッグイシュー3周年記念事業を皮切りに、第4期の活動は始まりました。第4期は以下の3点を重点事業としました。

- ①若者ホームレスの支援のための活動ネットワークづくりの準備をする
- ②若者ホームレスや生きがたさをもつ若者支援の輪を広げるためにフットサルチームをつくり広げる。
この象徴として「野武士ジャパン」をホームレスワールドカップ2011年パリ大会へ派遣する
- ③ホームレスの人々の就労への出口づくりの1つとして、農業体験のできる共同農場を開く準備をする

しかし、4期の後半に東日本大震災、福島第一原発事故が発生し、大きく活動を軌道修正することになりました。

重点事業の①では「若者ホームレス白書」(1万冊)、「ルポ若者ホームレス」(1万6千冊 ちくま新書)を発行し、シンポ(250名参加)を開催し、若者ホームレス支援委員会をつくり、支援ネットワーク会議を計画するなどほぼ予定通りの活動を行いました。

しかし②③では大きく活動を変えました。②ではパリ大会への参加の是非が問題となり、③では活動を中止せざるを得ませんでした。パリ大会へは、「野武士ジャパン」が被災地のボランティア活動を行い、ワールドカップ参加64カ国の人々と全世界へ被災地の今を知らせ、お礼の機会をつくるということで積極的に参加することにしました。

生活自立、就業、スポーツ文化、市民参加の4つの基本応援プログラムから見ると、重点事業③とリンクしていた就業応援事業が縮小しました。生活自立応援では若者ホームレス支援という視野から重点事業①をはじめ依存症や住宅の相談などの体制が整備され、掘り下げた事業が行われました。反面、定例サロンなどが多彩になりつつも参加者が固定、減少するなどの問題も抱えています。スポーツ文化、市民参加のプログラムでは形を変え、前期なみか、ある部分では上回るような活動が展開されました。特に、基金の活動から自立しつつあるダンスプロジェクト「ソケリッサ」は念願の大阪公演を果たしただけでなく、十和田現代美術館や大野一雄ダンスフェスティバルから招聘されるなどアートシーンにも進出しました。

基金の活動は4期目にして、自然災害や社会の大きな変動の中で改めて見直し、再編成していかなければならない局面に向き合うことになりました。

震災への取り組み

ビッグイシュー基金では東日本大震災に対して、販売者とともに下記の活動を実施しました。私たちにできる活動は決して多くはありませんが、現地のニーズに寄り添う形で、これからも活動を続けていきたいと思っております。

【震災チャリティフットサル大会と震災ボランティア派遣】

UBSをはじめとする外資系企業のご協力のもと、ビッグイシュー販売者と外資系企業合同の震災チャリティフットサル大会を行いました。当日集まった寄付をもとに、下記震災ボランティアプロジェクトを実施することができました。

建築土木の仕事についていたビッグイシュー販売者を中心に石巻市蛤浜で4度のボランティア活動を実施。5月18日～22日、6月22日～6月26日、7月27日～31日、8月25日～29日。合計で14名がボランティアとして参加。

被災地ボランティアをした「野武士ジャパン」メンバーがパリの舞台上で全世界に向け被災地報告とお礼の報告をしました。



(販売者Sさんの声)

「被災地には何かしたいとずっと思っていたので、今回、行くことができ本当に良かったというのが第一の感想です。もっと役に立ちたかったと反省をしているのですが、私が土木や自衛隊をやってきたということが、少くくは役に立ったかと思っています。必ず、また行きたいと思っております。」

【“ともに生きよう”キャンペーンと被災地応援】

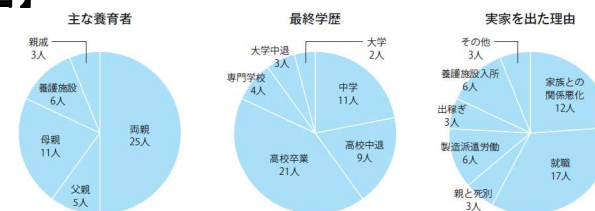
家や家族を失った人々への「がんばれ！」コールは当事者にとって辛いのではないかという声を受け、「ともに生きよう！」を提案しキャンペーンを行うとともに、被災地の市民活動団体へのカンパやスタッフ派遣を長期に継続して行っています。また、被災難民を生み出さないよう、被災地最大の都市仙台で路上ウォッチを続けています。

- ・ともに生きよう東日本キャンペーン
- ・せんだい・みやぎNPOセンターへスタッフの長期派遣
- ・被災地の3つの市民団体への活動カンパ
- ・被災者を被災難民にしないような予防的な予備調査の計画

生活自立応援事業

路上で生活する人が今日を生きるため、そして自立をするために役立つ情報をまとめた小冊子「路上脱出ガイド」を改定し、他のホームレス支援団体や市民のご協力の元、東京9940冊・大阪2780冊を配布しました。増えつつある40歳未満の若年層のホームレスの問題を「若者ホームレス白書(1万部)」や「ルポ若者ホームレス(ちくま新書:1万6千部)」としてまとめ発表しました。次のステップとして、若者ホームレスの予防・出口づくりに向け「若者ホームレス支援委員会」を結成、支援のネットワークづくりを計画しています。また、健康、住宅、福祉などの各種相談業務も実施しました。

【若者ホームレス白書】



08年秋から10年春にかけて40才未満のホームレス状態にある50名に聞き取り調査を実施し、「若者ホームレス支援方策委員会」(委員長 宮本みち子放送大学教授)を開きその検討結果を「若者ホームレス白書」としてまとめました。第5期では、若者ホームレスを路上に放置し、若者と社会の未来を壊すことのないよう、障害者支援団体や若者支援団体といった若者の自立支援に関わる団体の横断的なネットワークを形成し、“若者ホームレス”の予防と出口づくりを目指し活動をしていく予定です。

【シンポジウム】



2010年10月、若者ホームレス白書でまとめた内容をもとに、シンポジウム「若者ホームレスの今」を、東京都現代美術館で開催し250名の市民の方にご参加いただきました。

相談プログラム

【健康相談・結核診断】

大阪では、大阪府保険医協会の協力を得て毎月1回内科と歯科の健診を実施し、内科24名、歯科11名が利用しました。また、ヘルスサポートセンターの協力により、販売者を中心とする結核検診を行いました。

東京では、歯科医師の協力を得て歯科健診を実施し、大塚製薬の協力で熱中症予防講座を行いました。

この他、UBSグループからは医薬品、フードバンク関西とセカンドハーベストからは食品の提供を受け事務所に常備しています。また、日常生活において治療が必要な場合は、医療福祉の公的サービスを利用するためのサポートを行いました。

【依存症的傾向のある人へのサポート】

大阪では随時カウンセラーが、アルコールやギャンブルの依存症的傾向に悩む人のカウンセリングを行いました。また、東京でも、必要に応じて、精神科を含む専門家のグループに委託してカウンセリングを実施できる体制を整えました。

【住宅相談】

今年度は12人がアパート入居を果たしました。独力でアパートを探すことが難しいこと、都市部では低価格の物件を探すことが難しいこと、そしてアパート入居後に孤立感を覚え精神的に不安定になる人もいることなど、これらへの支援を個々のケースに応じて行いました。

今後は、住宅相談に加えて、アパートに入った際に必要なソーシャルスキル(ゴミ捨てや金銭管理など)を身につける機会を作っていく予定です。

【福祉相談】

生活保護の申請に関する相談で、必要に応じて他の支援団体を紹介したり、申請に同行するなどをしました。健康を害して、結果的に生活保護を取得せざるを得ないパターンが多くありました。

【夜回り】

多くの市民ボランティアやビッグイシュー販売者とともに夜回りを実施しました。食料やカイロ、路上脱出ガイドや各種プログラムのビラを手渡し、困ったことや不安なことがないかを、聞いて回りました。

* 東京では現在、体制上の制限から取りやめています。

つながり回復プログラム

【道端交流会】

大阪では、ホームレスの人たちが集う場所に出向き、映画鑑賞会などを行い、気軽に集える交流会を実施しました(1年間で70名が参加)。ここでのつながりがきっかけとなり、サッカーに参加するようになった人や、健康相談やパソコン教室などといった基金のプログラムに積極的に参加する人が増えました。この延長で、12月には「大阪ホームレスクリスマスパーティ」を開催しました。

【定例サロン】

ホームレスの人々とボランティアが交流したり、情報交換を行う定例サロンを、大阪・東京ともに毎月1回行いました。新年パーティーや、お花見、熱中症対策講座、法律相談、クリスマス会、落語会などを実施しました。



書き初め



年末の落語会

【金銭管理】

貯金を希望するホームレスの方よりお金を預かり、個別の通帳をつくって金銭管理のサポートをしました。大阪では18人が、東京では31人が利用しています。

大阪では、通常貯金の他におもしろ貯金システムを作りました。貯金箱にお金を入れる度に、細切れのシールをはがし最後に自分の好きなアイドルなどの写真が浮かび上がるという工夫をしたところ、15の方が貯金を始めました。

【ビッグイシューファンド】

新宿、池袋の越冬炊出しへのカンパや、路上脱出ガイドの福岡などの全国各地版の印刷費を提供しました。また3月11日に起こった東日本大震災の緊急援助として、仙台の夜回りグループなど協力団体に緊急カンパを行いました。

就業応援事業

ビジネスマナーやコミュニケーション力、ITスキルなど、基礎的な就労トレーニングをベースに、仕事経験の場を提供しました。販売者の努力で、大阪で10人、東京で4人が就職しました。

今後は、ビッグイシュー基金として販売者が利用できる準備プログラムを拡充していくため、他団体の支援プログラム(「つながり回復プログラム」「自己肯定感育成プログラム」と連携する。また、就業への前提となる気持ちの面でのサポートの仕組みをつくっていきたいと考えています。

【IT研修講座】

大阪ではボランティアの協力を得て、月に1度のパソコン講習を行い、ワードやエクセルなどを使う技術を身につけています。ビッグイシュー販売者だけでなく、道端交流会で出会った当事者の方も講座に参加しています。



【農業体験】

埼玉県小川町で有機農業体験に販売者とOBが参加しました。農家の方と一緒に田畑を耕して野菜の収穫をしたり、民家を借りてマクロビオテックの料理家の方と一緒にご飯を作り、みんなで1つの食卓を囲みました。農業体験後もビッグイシューOBのTさんは、定期的に農家を手伝っています。

今期、相模原の農家の協力で、種まきから収穫までのできる農業スペースをお借りする予定でしたが、震災被災地応援活動を優先したため中止しました。



【ヘアカット】

身だしなみは販売の仕事や就業の大前提です。大阪、東京それぞれでプロの美容師のご協力を得て、東京はほぼ毎月、大阪は各月に、無料のヘアカットを行いました。髪の毛を切って身だしなみを整えるだけでなく美容師さんとお話をするのを楽しみにしている販売者さんもあります。



【ビッグイシュー販売者、卒業生へのアフターフォロー】

卒業後も各種相談で訪れる方には、いつでもアドバイスを行い、必要であればしかるべき支援につなげられるよう相談窓口を開設してきました。

今回起きた地震で被害がなかったかどうかの安否確認を、連絡先がわかる卒業生に行ったところ17名と連絡を取り合うことができ、全員の無事を確認でき、近況も知ることができました。一方で生活保護から抜け出せない方、職を失い生活保護に切り替えている方もおり、今後、OBへの文化・スポーツ活動や定例サロンなどへの参加を積極的に呼びかけたいと思います。

文化・スポーツ活動応援事業

仕事と家の喪失に加え、「人とのつながりや絆」を失うことで、人は希望を失い、 hopeless になりホームレスになります。自分を肯定して、人とのつながりや生きる喜びを回復する機会として、スポーツ、ダンス、音楽など様々なクラブ活動を実施しました。

【フットサル】

2011年8月にパリで開かれた「ホームレス・ワールドカップ」に東京から3名、大阪より4名の合計7名が参加しました(野武士ジャパン)(UBSと国際交流基金より助成)。「ホームレス・ワールドカップ」は、世界に共通する貧困問題の解決を訴え、同時に貧困状態にある人たちが喜びや希望、仲間を取り戻すことを目指して行われるストリートサッカー大会です。

今回、日本チームとして参加した7名は、①自立に対しての真摯な努力、②チームワーク、③サッカー技術の向上の3つの基準で選ばれました。また、ホームレスワールドカップに参加する過程で、今後の就職活動に必要な本人確認証を7人中5人の方が獲得しました。



(選手となったビッグイシュー販売者の声)

最初はチームとしてまとまらなかったけれど、最後にはチーム一丸となることができました。本当に、ほんとうに、このチームで闘えてよかったと思います。また、1度は人生をあきらめた自分たちが、必死になって自分たちの元気な姿や、日本の元気をプレーで世界中の人々に伝えることができた点もよかったと思っています。

今後は、ビッグイシューの卒業と、この大会で学んだことを後に続く人々に教えていきたいと思っています。自分自身これからも色々大変なことがあると思いますが、逃げたくありませんし、一緒に戦った仲間にも、逃げないで前向きにやってほしいです。今回のワールドカップに参加するにあたって、多くの方の支えがあって、参加することができて、心から感謝しています。

【OHBB(大阪ホームレスビッグバンド)】

大阪のビッグイシュー販売者らが中心となって行う音楽クラブ「OHBB(大阪ホームレスビッグバンド)」。曲は当事者が作詞したものに、スタッフやボランティアがメロディーをつけたもので、現在11曲のオリジナル曲を持っています。毎月2回練習を行い、大阪のホームレスクリスマスパーティー、大阪玉造にあるカフェmagatamaにてライブを行いました。オリジナルソングとカバー曲を入れた自主制作CDを作り、会場で配布しました。一人一楽器も達成し、年々演奏のレベルが少しずつ上がってきています。当座の目標は、アマチュアコンテストに応募することです。

【コンテンポラリーダンス“ソケリッサ”】

コンテンポラリーダンスなど、身体を使った表現活動を楽しむクラブ。プロのダンサーアオキ裕きさんの指導のもと、週に2度の練習を行っています。今期は、初の大阪公演や宇都宮大学、慶應義塾大学での公演、また青森県にある十和田市現代美術館での公演などを行い、アート関係者からも高い評価を頂きました。



【歩こう会】

販売者が企画し、市民とともに大阪の街を歩く「歩こう会」。販売者が自主的に企画運営するこの企画。毎月一回開催して、2011年8月で39回目になるこの企画は来年の50回を目指して頑張っています。

【写真展】

2011年3月10-19日まで、兵庫県芦屋市にある芦屋市立上宮川文化センターで人権啓発写真展と称して写真展を行いました。

ボランティア・市民の社会参加活動

【ボランティア参加者】

夜回りへの同行や医療相談、パソコン講座の講師、事務所内での作業など、それぞれの専門を生かし、多様で個性豊かなボランティアスタッフが、日常の活動を支えてくださっています。2011年8月現在のボランティア登録者数は、大阪が269人、東京が351人の計620人になりました。東京大阪以外の地域での販売者のサポートをしている各地のサポーターを入れると約700人になります。

【各地のサポーター組織】

ビッグイシューさっぽろ: <http://bisapporo.web.fc2.com/>

仙台ビッグイシューソサイエティ

NPO法人仙台夜まわりグループ: <http://www.yomawari.net/>

NPO法人川崎水曜パトロールの会: http://homepage2.nifty.com/kawasaki_sui_patrol/

NPO法人三多摩ホームレス支援機構

NPO法人さなぎ達: <http://www.sanagitachi.com/>

びよんどネット: <http://www.ne.jp/asahi/mitaka/beyondnet/>

ビッグイシュー埼玉/ビッグイシュー千葉/金沢サポーター

ビッグイシュー名古屋ネット: <http://d.hatena.ne.jp/bigissuenagoya/>

NPO法人釜ヶ崎支援機構: <http://www.npokama.org>

ビッグイシュー京都/ビッグイシュー広島販売支援

ビッグイシュー福岡サポーターズ: <http://blog.goo.ne.jp/bigissue-fukuoka>

ビッグイシューかごしまサポーターズ: <http://bigissuekagoshimajimdo.com/>

【ビッグイシュー基金市民応援会員】

ビッグイシュー基金の賛助会員や個人寄付者として、活動を支えてくださっている方々はあわせて1000人を超えました。心から感謝します。ありがとうございました。

賛助会員数(2011年8月現在) 879人

◇あか抜け応援会員.....35人 ◇ぐっすり 応援会員.....232人

◇にっこり応援会員.....430人 ◇ひとり立ち応援会員.....143人

◇巣立ち応援会員.....39人 ◇社会再生・サポーター会員..2団体

◇キャリア再形成・サポーター会員..3団体

会員以外の個人寄付者数207人(前年度123人)

【助成金】「ダイワSRIファンド」助成プログラム/独立行政法人国際交流基金/
独立行政法人福祉医療機構

【企業・団体寄付】

GIVE ONE(オンライン寄付サイト)/KDDI株式会社/

UBS(UBS証券会社、UBS銀行東京支店、UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社)/
伊藤忠ホームファッション株式会社KEEN Japan/株式会社カタログハウス/株式会社北大路書房/
株式会社良品計画/共同カイテック株式会社/ゴールドマン・サックス/シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社/ドイツ銀行グループ/日本電気株式会社/有限会社ビッグイシュー日本

【物資の寄付】

ART COMPLEX1928(衣類)/SIEN2(テレホンカード)/UBS(医薬品・食品・衣類など)/大賀ブライダル(衣類)/大阪駅前炊き出しの会(寝袋)/大塚製薬(スポーツドリンク)/株式会社アルファ(食品)/株式会社稲葉製作所(食品)/株式会社エクセディ(お米)/株式会社ドール(果物)/株式会社プロトコーポレーション(食品)/株式会社マルエツ(お米)/木村工業(衣類)/九州電力株式会社(日用品)/中央区社会福祉協議会(衣類)/ドイツ銀行グループ(食料品引換券)/東京プライド(衣類)/どじょっこ農園(食品)/日本郵船(食品)/認定NPO法人フードバンク関西(食料品)/みちのく銀行(食品)/有限会社キャベ焼きグループ(食品、衣料品)/有限会社ビジネスブレン(食品)/楽天堂(食品)/若葉農業合同会社(お米)
その他、衣類やテレホンカードなどを中心に、多くの物資をご寄付いただきました。ありがとうございました。

2010年度決算報告

【貸借対照表 2011年8月31日現在】

科目	金額(単位:円)	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金	282,975	
普通預金	243,377	
販売者預り金特定預金	4,910,685	5,437,037
2. 固定資産		0
資産合計		5,437,037
II 負債の部		
1. 流動負債		
仮受金	453,622	
預り金	4,912,140	5,365,762
負債合計		5,365,762
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		910,290
当期正味財産 増加額(減少額)		△ 839,015
正味財産合計		71,275
負債及び正味財産合計		5,437,037

2010年度決算報告

【活動計算書 2010年9月1日～2011年8月31日】

科目	金額(単位:円)	
I 経常収入の部		
1. 会費収入		
年会費	20,821,100	20,821,100
2. 助成金・補助金収入		
助成金	5,141,000	5,141,000
3. その他収入		
寄付金	8,504,099	
受取利息	649	
雑収入	1,917,913	10,422,661
経常収入計		36,384,761
II 経常支出の部		
1. 事業費		
人件費		
給料手当	6,923,938	
雑給	1,654,486	
通勤費	700,916	9,279,340
その他経費		
家賃(光熱費含)	2,413,490	
通信運搬費	1,114,255	
消耗品費	687,816	
旅費交通費	4,099,549	
印刷製本費	745,148	
業務委託費	2,209,675	
諸謝金	730,060	
広報費	3,024,000	
会報費	3,103,920	
会議費	808,566	
研修費	142,111	
諸会費	20,400	
寄付金	420,000	
賃借料	1,312,768	
支払手数料	178,575	
雑費	987,262	21,997,595
2. 管理費		
人件費		
給料手当	2,286,835	
雑給	332,894	
法定福利費	158,850	
通勤費	176,794	2,955,373
その他経費		
家賃(光熱費含)	643,187	
通信運搬費	788,273	
消耗品費	187,127	
旅費交通費	723,510	
印刷製本費	251,410	
会議費	36,212	
研修費	6,000	
賃借料	157,116	
支払手数料	75,518	
雑費	123,115	2,991,468
経常支出計		37,223,776
経常収支差額		△ 839,015
当期収支差額		△ 839,015
前期繰越収支差額		910,290
次期繰越収支差額		71,275

事業費内訳	生活自立立 事業	就業応援事 業	スポーツ・文 化応援事業	ホームレス問 題への市民 参加拡充事 業	事業費計
人件費					
給料手当	3,194,385	845,671	1,455,565	1,428,316	6,923,938
雑給	1,096,040	81,145	206,935	270,366	1,654,486
通勤費	346,805	85,587	145,324	123,201	700,916
人件費計	4,637,230	1,012,403	1,807,824	1,821,884	9,279,340
その他経費					
家賃(光熱費含)	965,961	206,534	374,271	866,723	2,413,490
通信運搬費	180,570	19,276	46,238	868,171	1,114,255
消耗品費	306,405	23,379	153,183	204,849	687,816
旅費交通費	1,029,332	151,383	2,849,107	69,727	4,099,549
印刷製本費	745,148				745,148
業務委託費	1,402,400	439,500	367,775		2,209,675
諸謝金	409,300	44,760	276,000		730,060
広報費				3,024,000	3,024,000
会報費				3,103,920	3,103,920
会議費	230,996	12,578	545,359	19,633	808,566
研修費	128,211	1,800	10,100	2,000	142,111
諸会費			10,400	10,000	20,400
寄付金				420,000	420,000
賃借料	531,333	49,900	540,935	190,600	1,312,768
支払手数料	5,450	5,250	112,255	55,620	178,575
雑費	499,184	19,875	456,203	12,000	987,262
その他経費計	6,434,290	974,236	5,741,827	8,847,243	21,997,595
事業費計	11,071,520	1,986,638	7,549,650	10,669,127	31,276,935

監査報告

1 監査の方法の概要

業務執行については、代表理事等から、現在会員数、活動内容等を聴取し、財産の状況については、損益計算書、貸借対照表の開示及び説明を受けました。他方、適宜、総勘定元帳、入金伝票、領収書、通帳の写し、郵便振替票等につき検討を加えました。

2 監査の結果

特定非営利活動法人ビッグイシュー基金の業務報告及び決算報告について、2010(平成22)年9月1日から2011(平成23)年8月31日までの監査を行った結果、客観的資料にもとづき明瞭かつ正確であって、適法であることを認めます。

なお、業務または財産に関して、指摘すべき、不正の行為または法令、定款違反の重大事実はありません。

2011(平成23)年11月2日

特定非営利活動法人ビッグイシュー基金監事

木原万樹



ビッグイシュー基金とは

ビッグイシュー基金とは

ビッグイシュー基金は、有限会社ビッグイシュー日本(※)を母体に07年9月に設立した、ホームレスの人々の自立を応援する非営利団体です。

生活自立、就業、文化・スポーツ、市民の社会参加活動などの多様な応援プログラムを、市民とともに実施し、貧困問題という氷山の頂点にあるホームレス問題の解決に挑戦する、“再チャレンジ”市民応援事業を行います。

ビッグイシュー基金が目指すもの

ビッグイシュー基金は、社会的企業である(有)ビッグイシュー日本の、自立支援、モノやおカネではなく「チャンス」の提供、ホームレスをビジネスパートナーに、社会問題の当事者を問題解決の担い手にする、などという事業を土台に生まれました。基金は会社とも協力してホームレスの人々の一層の「自助＝セルフヘルプ」をサポートすることを基本理念として活動します。

そして、ホームレスの人々に対して生活自立、就業、スポーツ文化活動、また、市民の方への参加機会の提供、の4つの基本応援プログラムを行っています。ホームレスの人々もまた、望めば「ホームレス(H. L)人生相談」をはじめ、「H. Lダンス」「H. Lサッカー」「H. Lバンド」「H. L写真展」「H. L文学賞」「H. L川柳」「H. L共同経営店舗」などの機会を活かし、当事者として担い、表現し、生きる喜びや誇り、希望をもてるようになってもらいたいと考えています。このような活動を通して、社会全体がいきいきとした力を取り戻すことにホームレスの人々とともに貢献したいと願っています。

ビッグイシュー基金は、活動や提案を通して貧困問題という氷山の頂点にあるホームレス問題の解決に関わり、社会の変革に寄与できればと思っています。さらに、賛助会員をはじめ市民寄付者などを中心に多くに市民の意向を尊重しながら、市民同士の共同を促進し、市民が当事者になれるような活動を行いつつ、再チャレンジしやすい機会の豊かな市民当事者社会の形成に貢献したい、と考えています。

団体概要

- 正式名称 特定非営利活動法人ビッグイシュー基金
- 設 立 2007年9月設立
※2008年4月内閣府よりNPO法人の認証を受ける
- 所 在 地 [事務局本部]
〒530-0003大阪市北区堂島2丁目3-2堂北ビル4階
Tel 06-6345-1517 Fax 06-6457-1358
E-mail info@bigissue.or.jp
[東京事務所]
〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-5シンカイビル201号室
Tel 03-6380--5088 Fax 03-6802-6074
- 役 員 理事長 佐野 章二 (有限会社ビッグイシュー日本代表)
理 事 井上 英之 (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特別招聘准教授)
枝元 なほみ (料理研究家)
米本 昌平 (東京大学特任教授)
水越 洋子 (『ビッグイシュー日本版』編集長)
監 事 木原 万樹子 (弁護士)
相談役 雨宮 処凜 (作家)
松繁 逸夫 (釜ヶ崎資料センター主宰)
- ス タ ッ プ 長谷川 知広 瀬名波 雅子 北野 里実
津端 幸江 高野 太一

※ 有限会社ビッグイシュー日本とは？



ビッグイシュー日本は、「ホームレスの人々の救済ではなく仕事を提供する」ことを目的に活動している有限会社です。ホームレスの人々の自助・自立を促すために路上で雑誌を販売してもらい、その売上の50%以上を彼らの収入にするという仕組みをつくっています。

03年9月から11年8月までの8年間で1267人が販売者に登録し、146人が仕事を獲得して自立しました。また、累計481万冊を販売、6億5,626万円の収入をホームレスの人たちに提供してきました。

ビッグイシュー基金では、活動を継続的に支援して下さる応援会員を募集しています

市民応援会員



あか抜け応援(学生)会員 年会費:2,500円

【特典】会員バッジ
『ビッグイシュー日本版』最新号1冊の贈呈
年次報告書(年1回)の送付



ぐっすり応援会員 年会費:5,000円

【特典】会員バッジ
『ビッグイシュー日本版』最新号1冊の贈呈
年次報告書(年1回)の送付



にっこり応援会員 年会費:15,000円

【特典】ぐっすり応援会員の特典に加えて
雑誌最新号にお名前を掲載
会報として『ビッグイシュー日本版』1冊1年分の送付



ひとり立ち応援会員 年会費:50,000円

【特典】にっこり応援会員の特典に加えて
雑誌に1年間お名前を掲載
ビッグイシュー基金パーティにペアでご招待(年1回)



巣立ち応援会員 年会費:100,000円

【特典】ひとり立ち応援会員の特典に加えて
ビッグイシューバックナンバー合本(非売品)の贈呈

来期(5期)後半頃から、寄付金額への税額控除を受けることができる認定NPO法人になれるよう手続きを進めています。このため会員の仕組み(会費では税額控除は受けられません)を大きく変える予定です。しかし当分は、現在の会員システムで続けます。ご理解いただきますようお願いいたします。

企業・団体「社会再生」サポーター

キャリア再形成・サポーター会員 年会費:250,000円

【特典】雑誌に1年間貴社名を掲載、会報として『ビッグイシュー日本版』1冊1年分の送付、ビッグイシューバックナンバー合本(非売品)の贈呈、年次報告書の送付(年1回)、ビッグイシュー基金パーティにペアでご招待(1回)、ビッグイシュー定例サロンの見学

社会復帰・サポーター会員 年会費:500,000円

【特典】キャリア再形成・サポーター会員の特典に加えて貴社の社員研修会の販売者やスタッフの講師派遣(年1回)社員研修の一貫として、販売者の指導による1日街角販売体験(道端留学)、ビッグイシュー基金のホームページに貴社名を掲載

社会再生・サポーター会員 年会費:1,000,000円

【特典】社会復帰・サポーター会員の特典に加えて、販売者参加のイベント(ダンス公演・コンサート・サッカー)のうちご希望の1つに協賛企業として貴社名を掲載

《お申込み》

ホームページよりオンラインでご登録いただけます。

(<http://www.bigissue.or.jp>→応援するには?→会員になる→市民応援会員登録フォーム)または、郵送でお申込み用紙をお送りすることもできますので、送付先のご住所とお電話番号をお知らせください。お申込用紙は、〒530-0003大阪市北区堂島2丁目3-2堂北ビル4FまたはFAX 06-6457-1358までお送りください。

お申込み後は、恐れ入りますが会費のご入金をお願いいたします。

ご入金確認後、特典一式を送らせていただきます。なお、ご入金の際の名義は、お申込みの際の名義と同じものをご記入いただきますようお願い申し上げます。

【郵便振替】

口座番号:00960-6-141876 口座名義:NPO法人ビッグイシュー基金

※銀行をご希望の場合は、大阪事務所(06-6345-1517)までお問い合わせ下さい。